

科目	野生動物学		
担当講師	本田公三		
実務経験有	獣医師免許 大学卒業後地方自治体において動物園、公衆衛生分野に勤務		
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次後期 (14回)	講義	必修	30
授業目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・日本（世界）の野生動物の種類と生息環境と保全の概況について学ぶ。 ・外来生物が在来種に及ぼす影響や対策について学ぶ。 			
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・動物園・水族館等の展示動物についてその意義や役割及び課題について学ぶ。歴史や、社会との関わりについて理解を深める。 			
成績評価の方法			
<p>評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。</p>			
教 材			
<p>コアテキスト 4巻動物の行動と健康管理P216～249（ファームプレス）</p> <p>講師配布資料</p>			
授業計画 毎週金曜日 4限目 15:00～16:30			
回	テーマ	授業内容	
1	野生動物の定義	野生動物と家畜の違いについて	
2	野生動物の種類と生息分布	日本生息する野生動物について学ぶ	
3	野生動物の食性	野生動物の地理的生息環境について学ぶ	
4	外来生物	人によって持ち込まれた自然分布域以外の地域に移動させられた生物について学ぶ。	
5	展示動物の定義	展示動物の基本的な考え方や種類、繁殖、修正飼育について学ぶ	
6	鳥獣害	野生鳥獣による農林水産物への被害と対策	
7			
8	保全	生息環境や種の保存の取り組み状況と展望	
9			
10	絶滅危惧種とレッドリスト	絶滅あるいは絶滅が危惧される野生動物の状況	
11			
12	動物園・水族館の役割	動物園や水族館の役割や今後の展望	
13	まとめ		
14	まとめ		